

海田小学校教育目標

夢への挑戦「自ら学び 自ら伸びる」

めざす児童像

聞いて 考えて 行動できる子ども
 自他を大切にできる子ども
 目標をもち ねばり強く取り組む子ども
 体力づくりに励む子ども

本年度重点目標

- 確かな学力の定着**
- ・既習事項を活用して学習する。
 - ・基礎基本の定着と活用力の向上を図る。
 - ・無解答率0をめざしてあきらめない学習。
- 豊かな心の育成**
- ・自尊感情の育成・自己肯定感を高める。
 - ・あいさつ日本一をめざす。
 - ・共感的人間関係の育成と聴く力の育成を図る。
- 体力・耐力の育成**
- ・スポーツテストの効果的な活用を行う。
 - ・ランランランへ目標ある取組を行う。
 - ・体育の授業改善を行う。
 - ・欠席0に向けた取組を行う。

評価項目 4

体力づくりの充実に取り組む

評価指標

新体力テストの総合判定結果C以上の児童85%

新体力テストの結果、課題のあった種目で県平均を上回る児童70%

自己評価点

3

具体的方策	成果 (○) と課題 (▼)	改善策
<p>○大休憩のランランランタイムの設定。</p> <p>○体育朝会で運動・遊びの紹介。</p>	<p>○毎月学年で何週走ったかを放送で知らせたり、学年の積み重ねが分かるように刑事を変更したりしたことで、児童の意欲が向上している。</p> <p>○学期末に各学年数名程度、日々まじめに取り組んでいる児童を評価し表彰を行なうことができた。</p> <p>▼全体的に歩いている児童が多い。</p> <p>▼雨や熱中症厳重警戒がでるなど、6月後半から7月は実施できる日が少なかった。</p> <p>▼評価の仕方に課題がある。</p> <p>○体育朝会で、ラジオ体操のポイントや水泳のポイントなどを示すことができた。</p> <p>○ソフトバレーボール大会への出場への紹介やビーチボールの配布することができた。</p> <p>▼遊びや運動を全体でできる朝会を実施することができなかった。</p>	<p>・全校ランランランでは、必ず時間を守り、全員参加を行う。</p> <p>・普段のランランランでは、教員がつくことが難しいが、安全面の確保という観点からも、輪番制で教員が参加する日を決めた方がよい。</p> <p>・来年度に向けてランランランの実施について検討をする。→実施日の減少、安全面の確保、児童の意欲面などから。</p> <p>・2学期以降に全校遊びや体力オリンピックに向けての取組を行っていく。</p>

具体的方策	成果（○）と課題（▼）	改善策
<p>○学年学級タイムの活用。</p> <p>○体力テスト前に授業での取組。</p> <p>○校内研修による体育の授業改善。</p> <p>○新体力テストの結果，県平均を下回った種目の重点的取組を行い，再測定を実施。</p> <p>○男女各種目上位3名の表彰。</p>	<p>○全学級が，体を動かして遊ぶことができている。</p> <p>▼全校遊びの時間として活用できていない。</p> <p>○事前に体力テストの種目別に適切な計測方法と記録を伸ばす指導の仕方，準備の運動などについて校内研修を行うことができた。授業で取り入れて体力テストに向かうことができた。</p> <p>▼全体で必ず指導しておくことを決めるなど，組織的に取組を進めていけない。</p> <p>○8月末に陸上の指導に向けて研修を実施する。</p> <p>▼1学期は実施できていない。</p> <p>○体力テストの種目別優秀者を掲示，体育朝会で表象することができた。</p> <p>▼人数，時間の関係で，上位1名の表彰になった。</p>	<p>・全校遊びを計画実施していく。</p> <p>・来年度は，体力テストに向けての取り組みを3月から始めていく必要がある。</p> <p>・2学期に授業研修を行う。</p> <p>・2学期に体力オリンピック（課題の種目の再測定）を実施する。</p> <p>・体力オリンピックに向けての取組を実施する。</p> <p>・体力オリンピックでは，記録の伸びについて表彰を行う予定である。</p>

評価資料

1 ランランラン

○1学期の記録・・・56598周

4月	16694周
5月	19466周
6月	20438周
7月	9502周

今年度，熱中症嚴重警戒が発令された日は，ランランランの実施を見合わせている。7月猛暑日や雨が続いたため，記録が低くなった。

○一学期末ランランラン認定証 **49名**

2 学年男女別体力テスト総合結果C以上の割合

	学 年					
	1	2	3	4	5	6
男子	88.0%	95.0%	86.8%	88.6%	100%	100%
女子	90.5%	89.3%	95.2%	87.1%	90.6%	100%
全校児童で総合結果C以上は 91.7%						

3 平成27・28年度 新体力テスト総合結果C以上の割合

平成27年度				平成28年度			
	人	%	%		人	%	%
A	85	21.7	86.4	A	112	30.9	91.7
B	138	35.3		B	140	38.6	
C	115	29.4		C	81	22.3	
D	37	9.5	13.6	D	24	6.6	8.3
E	16	4.1		E	6	1.7	
合計	391			合計	363		

4 平成27年度広島県平均及び平成26年度全国平均との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	9.16	18.60	27.04	28.20	24.56	11.54	111.20	11.52	35.00
第2学年	11.05	18.78	29.13	37.20	23.05	10.65	137.80	13.65	42.00
第3学年	11.87	19.32	32.68	38.84	40.10	10.19	139.76	17.92	47.11
第4学年	14.40	21.34	31.29	46.71	51.60	9.64	145.14	23.25	53.66
第5学年	16.50	30.15	39.73	50.35	54.31	9.16	162.81	25.58	61.23
第6学年	21.16	27.89	37.08	53.05	71.27	8.49	170.43	28.14	66.14

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	8.95	16.90	28.48	28.10	21.90	11.93	105.05	7.48	35.43
第2学年	10.39	16.96	31.82	36.32	21.00	11.04	117.07	9.93	42.21
第3学年	12.14	17.43	36.76	39.57	31.43	10.15	135.14	12.95	50.14
第4学年	14.39	22.58	34.13	43.74	45.94	9.81	134.94	15.61	56.13
第5学年	16.66	27.81	40.06	48.97	39.75	9.35	150.59	17.34	61.94
第6学年	20.00	25.21	43.79	49.83	53.48	8.97	155.52	20.17	67.24

県平均値かつ全国平均値未満

昨年度、県平均かつ全国平均以上の項目が61.5%であったが、今年度は、82.3%となった。体力テストに向けての昨年度からの取り組みや、今年度体力テストに向けての職員研修などの積み重ねの成果と考えられる。今年度は、立ち幅跳びの跳躍力と50m走の走力を重点課題として、取組を進めていく計画を立てている。